

◆ Furusato Obara Club

Take Free [0円]

# おばらのじかん

第14号

2018 Summer



卷頭  
特集

どんな団体なの?  
小原商工会 青年部

[軽トラあんどんパレード開催!]

[第2回おばらマルシェ9月30日開催!]

[マンガイカくんキンちゃんの小原日記]

[小原いろいろ情報]

おばちゅう  
以外でもOK  
小原人集まれ!「おばちゅう卒」  
[www.facebook.com/obachuu](http://www.facebook.com/obachuu)



卷頭  
特集

小原に人が増えていってくれるとい  
な。とニッコリ

料理旅館「品野屋」(創業昭和元年)4代目社長の酒井昌(さかい・まさる)さん。お昼と夜と営業をしていて、お昼の定食も安くておいしい。注文を受けてからさばき、代々使用している秘伝のタレを付けて焼くうなぎはおいしいと評判!

私も実際にお昼にうなぎを食べてみ  
した。1匹まるごと入ったうなぎは、外はカリッとしていて、中

はフワッとしていてとても美味しい。また、さっきまで生きていたよーと  
いう鮎を塩焼でだしてくれた。品一品どれもおいしい。昼も夜も満足させてくれる。そんな昌さんは、名古屋にある割烹店で高校卒業から25歳まで修行し、小原に戻ってきたそうです。今ではその大将が品野屋さんに訪れるという。昌さんの趣味は登山や釣りにゴルフとかなりアケ  
ティブだ!もちろん食べるのも好き。ビールも好きだが、甘いものも好きとのこと。特に松華堂さんのシュークリームとか(笑)。人の良さが滲みでている表情で、「言葉かみしめながら話してくれるお話しは、小原に住むことに誇りを持っている人だなあと感じました。

毎年恒例になつてゐる、「小原夏まつり」で飲み物を売つてしたり、春の「マイタウンおいでん」では、子供相手のお店や駐車場係をやつた。昨年からはじまつた「おばらマルシェ」では、地元の食材を使った「おばらーメン」を開発し出店しました。

ほかにも、小原のお土産「四季桜茶」の開発や販売など、よく見かけるけど、知つてゐるようで知らない「小原商工会青年部」体どんな団体でどんな人たちなのか?

今回は、小原で活躍する商工会青年部の皆さんを取材しました。

### ■商工会青年部とは

商工会は国の法律で出来た公的機関で、「経営支援」と「地域活性化」的とした団体です。簡単に言うと「事業者の経営を支える援助をしまだたり、「地域を盛り上げますよ」という機関で、主に町村の小規模事業者で、全国で1700ほどの商工会があります。小原など小さな地区対象で、会員は事業者で、会員になると観光協会とも連携している場合が多いです。会員は事業者で、会員になると申告の記帳や補助金申請の補助、融資などのサービスを受けられます。青年部は商工会員で満45歳までの商工会の若い衆という感じで、2や3代目などが多く在籍し、商工会や観光協会などの主催する地域のイベントなどのお手伝いをしたり、経営者としての勉強会なども定期的に行つていて、

A collage of three images: a close-up of a hand holding a traditional Japanese document with dense text; a bowl of ramen with visible meat, egg, and toppings; and a close-up of a hand holding a small, round, yellowish object, possibly a piece of fruit or a seed.





## こだわりの温泉ソムリエ

公共の温泉施設「寿楽荘」のお仕事を尋ねると「私の仕事は主に施設管理なのですが、電話受付や、フロントにも立ちます。まあ、何でもありますね。」と笑顔で話す山田浩也(やまだひろや)さん。

「一番気を使うことは温泉の衛生管理のこと。具体的には、お湯の衛生状態を適正に保つために塩素濃度を常時監視し、配管の汚れを防止する消毒洗浄作業を毎週行っているそうです。機械の故障や誤差をいち早く発見し、対処することが大切だと語る。

寿楽荘は循環式浴槽にかけ流しで新湯までいる。だわりっぷりで、1日2回もお湯を入れ替えている温泉だそうです。「これは自信をもつて皆さんにおすすめできるポイントですね」と自信に満ちた表情で語る姿が印象的大だ。

また商工会青年部の仲間と数人で小原のお土産「おばらボンヌ」や「おばらじょんぬ」を開発した立役者でもあります。現在は、ひのきを使う新しいお土産の開発も密かに行っているそうですが、新商品の開発も密かに行っているそうです。



常任委員 山田浩也 [株平畑温泉観光サービス]  
〒470-0523 豊田市平畑町東田 722 Tel.0565-65-3611



## 面白くて勉強になる

伊藤浩(いとうひろし)さんは、瀬戸信用金庫の藤岡支店に勤めているghanさん。主に藤岡小原の主要な会社を担当しています。仕事の醍醐味を聞くと、お客様から相談を受けた時に話を聞いていただけで、「伊藤さんなら」と相談された時は「信頼していただけのかな」と本当に嬉しいと話されました。また青年部の活動に参加させても、小原のことが随分わかったので、将来的には地域のプロジェクトにも仲間として参加させてもらいたい」と語る伊藤さん。

趣味では、小学生のサッカーのコーチをしているそうで、すごく楽しいと語る。サッカー協会のセミナーでも言われ、自身も気をつけていることは、大人は子供に比べて怖い存在なので、頭ごなしに怒らないこと。引っ込み思案な子にあえて役を与えたり、「一番上手い子はあえて、キヤブテンにしなかりたり。子供が考えたり、自信がつくよう工夫をしているとのことで、教えるけど子供から教えられることも多く、色々な面で勉強になります」と話す。また、「伊藤さん楽しかった」「サッカー続ける」と卒業する子供から言われると、本当に嬉しいものですね。

常任委員 伊藤浩 [瀬戸信用金庫 藤岡支店]  
〒470-0451 豊田市藤岡飯野町坂口859-2 Tel.0565-76-3111



## お客さんが喜んでくれるのが一番嬉しいですよね

加藤啓徳(かとう よしのり)さんは小原町尾崎で電気工事業を営む小原電気工事の後継者として仕事をしています。仕事の内容は、住宅や工場などの電気工事を主に行っています。「最近だと仕事をしていく楽しいのがアコスの取り付け工事。自分が腕を上げることにより、お客さんが喜んでくれることが嬉しい」と話す加藤さん。また必要に応じて、アドバイスや提案することも仕事をする上で心掛けているという。例えば、仮間のある家が多い小原地区では、仮壇の上にエアコンを取り付けるのはオススメできない。理由は水漏れや乾燥により大切な仮壇を壊くする可能性がある。とのことです。今後は高齢化が進む中で頼んで頂いた仕事を専門以外でも柔軟に受けしていくと話す。

青年部が販売する大人気の「おばラーメン」は加藤さんが作っています。聞いて驚くのが、納得の一杯を作るために出店の父の親のもと、専務取締役という立場で日々、仕事に精を出している田澤智也(たざわともひこ)さん。

仕事の内容はセラミック製品となる原料の加工販売。他にも耐熱部品を取り扱っています。

具体的には、小原地区の東郷町の業者さんの工場で砂利石を均一に砕き、きめ細かな精度のある粉末加工している。その他にドライアイスプレーなど、豊富な加工製品に携わっているそうです。

常任委員 加藤啓徳 [小原電気工事]  
〒470-0531 豊田市小原町尾崎856-2 Tel.0565-65-3603



## 小原の人はみんなあつたかい 話を聞いてくれます！

小原の人はみんなあつたかい話を聞いてくれます！

鈴木建設(すずきけんさく)さんは、JAの小原支店に勤めて4年目。小原の一般企業と個人のお客様を訪問し、融資・貯金・共済を担当しています。「小原の人は、みんな温かく、良い人ばかり。話もしっかり聞いてくれる。『ありがとうございます』と感謝された時はいつでも何處でも嬉しいものですね。お土産も野菜をたくさんもらったり笑」と話す。

休日はキャンプに家族(奥様・お子様2人)で行くといふ。ハイクもお酒も好き!足助在住で、地元のイベントも大好き!田舎が好き!だけど、田舎の定義ってなあに?病院近くは、パレット(スープー)あるし、アマゾンあるし(笑)知らない人が隣に住んでいるのは無理!といふ思いだ。そんな鈴木さんは、先日の「おばらマルシェ」で大好評!「農協だから参加する」という話を聞いています。やっついて、楽しめたヶ月」と話してくれました。本業の仕事でも「これからもお客様の立場になろう、丁寧な接客を心掛けていきます」といつもお土産も野菜をたくさんもらったり笑」と話す。

お祭りも大好き!田舎が好き!ただ、田舎の定義ってなあに?病院近くは、パレット(スープー)あるし、アマゾンあるし(笑)知らない人が隣に住んでいるのは無理!といふ思いだ。そんな鈴木さんは、先日の「おばらマルシェ」で大好評!「農協だから参加する」という話を聞いています。やっついて、楽しめたヶ月」と話してくれました。本業の仕事でも「これからもお客様の立場になろう、丁寧な接客を心掛けていきます」といつもお土産も野菜をたくさんもらったり笑」と話す。

鈴木建設(すずきけんさく)さんは、JAの小原支店に勤めて4年目。小原の一般企業と個人のお客様を訪問し、融資・貯金・共済を担当しています。「小原の人は、みんな温かく、良い人ばかり。話もしっかり聞いてくれる。『ありがとうございます』と感謝された時はいつでも何處でも嬉しいものですね。お土産も野菜をたくさんもらったり笑」と話す。

常任委員 鈴木建作 [あいち豊田農協小原支店]  
〒470-0531 豊田市小原町前田181 Tel.0565-65-2700



常任委員 鈴木建作 [あいち豊田農協小原支店]  
〒470-0531 豊田市小原町前田181 Tel.0565-65-2700



## 刺激的な場を作つていきたい

大平町に事務所と工場をかまえ、現在は2代目の父親のもと、専務取締役という立場で日々、仕事をしている田澤智也(たざわともひこ)さん。

仕事の内容はセラミック製品となる原料の加工販売。他にも耐熱部品を取り扱っています。

具体的には、小原地区の東郷町の業者さんの工場で砂利石を均一に砕き、きめ細かな精度のある粉末加工している。その他にドライアイスプレーなど、豊富な加工製品に携わっているそうです。

笑顔の素敵な智也くんは33歳独身、恋人も募集中。仕事以外では消防団活動をしており、いざとなれば出動し、消防活動もするとのこと。商工会青年部には3年ほど前に入部しており、地域活動に励んでいます。それでも頑張るのは、青年部のメンバーと小原で出店することが楽しいからだという。それと、仕事でも青年部事業でも共通して、「やっぱりお客様に喜んでもらえることが一番嬉しい」と少し照れながら話してくれました。

G.K

部員 田澤智也 [有丸モ製土]  
〒470-0555 豊田市大平町下山6 Tel.0565-65-2388



## 小原を盛り上げていきたい

大平町の田澤製土は母親がメインで経営。主にホームセンター等に納品している。その関連会社、瀬戸の有プロミックに勤めている田澤義章(たざわよしあき)さん。(有プロミック)では焼物関係の陶芸の原料を出荷しており、県内や遠くは岡山県、富山県などから原料を仕入れ工場で搅拌して泥状にして油圧プレスし、出来上がったものを陶芸の材料として出荷しています。取引先は県内外もどりより、三重県や滋賀県、信楽など。焼物が盛んな土地に出荷しているそうです。冬に使う土鍋などの需要が多い反面、春夏に使う物の売上を課題としているそうです。

この仕事について8年目で、同僚や上司とも仲良く、取引先の売り込みも頑張っています。商工会青年部の活動では異業種の方との交流や考え方が面白く勉強になるそうです。今は結婚し名古屋に住んでいるが、小原は好きでとても住みやすく、UTAERUN者も多いので、ゆくゆくは活発に小原を盛り上げていきたいと語りました。

G.K

部員 田澤義章 [田澤製土有]  
〒470-0555 豊田市 大平町浜松山1-2 Tel.0565-65-2700



## 林業を修行中の若手ボーッ

酒井陽平(さかい ようへい)さんは、現在25歳で就職して3年目。ゆくゆくは3代目を継ぐため林業を修行中。やりがいのある仕事で、日々充実しているそうです。

丸兼林業は創業当時、林業で木をチップ加工し、製紙工場へ納品する運送業だったそうです。そして2代目の父から本格的に山より切り出した丸太を市場へ販売する事業を開始。主に国有林県有林の間伐作業、市道等の伐採などをしています。従業員は6名で多いときには、3つの現場を掛け持つそうです。今は将来現場を任せられるように、作業班

G.K

部員 酒井陽平 [丸兼林業(有)]  
〒470-0543 豊田市北篠平町223 Tel.0565-65-2046

G.K



部員 酒井陽平 [丸兼林業(有)]  
〒470-0543 豊田市北篠平町223 Tel.0565-65-2046



小原を盛り上げたい

大平町の田澤製土は母親がメインで経営。主にホームセンター等に納品している。その関連会社、瀬戸の有プロミックに勤めている田澤義章(たざわよしあき)さん。(有プロミック)では焼物関係の陶芸の原料を出荷しており、県内や遠くは岡山県、富山県などから原料を仕入れ工場で搅拌して泥状にして油圧プレスし、出来上がったものを陶芸の材料として出荷しています。取引先は県内外もどりより、三重県や滋賀県、信楽など。焼物が盛んな土地に出荷しているそうです。冬に使う土鍋などの需要が多い反面、春夏に使う物の売上を課題としているそうです。

この仕事について8年目で、同僚や上司とも仲良く、取引先の売り込みも頑張っています。商工会青年部の活動では異業種の方との交流や考え方が面白く勉強になるそうです。今は結婚し名古屋に住んでいるが、小原は好きでとても住みやすく、UTAERUN者も多いので、ゆくゆくは活発に小原を盛り上げていきたいと語りました。

G.K

部員 酒井陽平 [丸兼林業(有)]  
〒470-0543 豊田市北篠平町223 Tel.0565-65-2046



小原を盛り上げたい

大平町の田澤製土は母親がメインで経営。主にホームセンター等に納品している。その関連会社、瀬戸の有プロミックに勤めている田澤義章(たざわよしあき)さん。(有プロミック)では焼物関係の陶芸の原料を出荷しており、県内や遠くは岡山県、富山県などから原料を仕入れ工場で搅拌して泥状にして油圧プレスし、出来上がったものを陶芸の材料として出荷しています。取引先は県内外もどりより、三重県や滋賀県、信楽など。焼物が盛んな土地に出荷しているそうです。冬に使う土鍋などの需要が多い反面、春夏に使う物の売上を課題としているそうです。

この仕事について8年目で、同僚や上司とも仲良く、取引先の売り込みも頑張っています。商工会青年部の活動では異業種の方との交流や考え方が面白く勉強になるそうです。今は結婚し名古屋に住んでいるが、小原は好きでとても住みやすく、UTAERUN者も多いので、ゆくゆくは活発に小原を盛り上げていきたいと語りました。

G.K

部員 酒井陽平 [丸兼林業(有)]  
〒470-0543 豊田市北篠平町223 Tel.0565-65-2046

# 軽トラあんどんパレード開催!!



原の夜に咲かせてみせよう「あかり」原和紙を使用した手づくりの「あんどん」を軽トラックに乗せて小原交流館を出発し小原中をパレードするイベントです。昨年までは11月に開催していましたが今年は8月1日に開催されました。

軽トラあんどんパレードは、小原だけなく市内外の多くの人に知られるようになってきました。

また地元の企業さんたちが協賛してくれて、賞もとても豪華なものとなっていることも魅力のひとつ。奥深い暗闇の山道で待つてくれたおばあちゃんたち、光るサイリュウムをふって声援してくれた子供たち。

今年の軽トラあんどんも見事に、小原の闇に24台の大輪の華を咲かせてくれました。来年もどんな華が咲くか楽しみです。

T.S.



原の華を今年で第7回目となる「軽トラあんどんパレード」は特産品である「小原和紙」を使用した手づくりの「あんどん」を軽トラックに乗せて小原交流館を出発し小原中をパレードするイベントです。昨年までは11月に開催していましたが今年は8月1日に開催されました。

## 四面囲出 第2回おばらマルシェ 9月30日(日)開催!

今年の秋、9月30日(日)午前10時より小原交流館駐車場で、第2回のおばらマルシ

エが開催されます。おばらマルシェもプレから数えると3回目。前回の2回とも、たくさんの人たちが来場してくれました。

小原の特産品を中心に美味しいグルメ大集合! 新鮮どれたて小原の野菜たち、小原の食材を使った体に優しい焼き菓子&スイーツ。ミネアサヒを使つた炭火で焼くふつくら五平餅みよしで人気のラーメンなど。

今回はキッズ・ファミリー向けのお店はもちろん無料のクイズラリーやこっこふれあいパークで鶏のこと学べたり、家族で遊べるマルシェになっています。是非お越しください。



## 小原いろいろ情報

おばら地区の物件を探すなら!

豊田市 空き家バンク 検索

[www.city.toyota.aichi.jp/akiya/](http://www.city.toyota.aichi.jp/akiya/)

おばらの情報ページ  
『おばちゅう卒』是非登録してね!  
[www.facebook.com/obachuu](http://www.facebook.com/obachuu)

おばら地区  
以外の人もOK!

おばら四季桜まつり  
(小原地区)  
小原の一番大きな観光イベント。秋に咲く桜は必見です。

11月1日(木)～30日(金)  
小原和紙芸作家工房めぐり  
(小原地区)  
無料バスに乗つて豊田小原和紙芸作家の工房を訪問し

お話を聞けます。

10月30日(火)～12月2日(日)  
小原地域の作家展  
(和紙のふるさと)  
工房を小原地区に置く作家や縁のある作家たちの展覧会です。絵画や陶芸など。

10月1日(木)～30日(金)  
おばら四季桜まつり  
(小原地区)  
小原の一番大きな観光イベント。秋に咲く桜は必見です。

10月10日(土)  
小原和紙芸作家工房めぐり  
(小原地区)  
無料バスに乗つて豊田小原和紙芸作家の工房を訪問し

お話を聞けます。

10月28日(日)  
419市  
(大坂町松月寺)  
小原の技あり奥さんが中心で行う、ライブあり、美味しいものありのおしゃれ市。

10月21日(日)  
小原文化まつり  
(小原交流館)  
小原歌舞伎公演をはじめ、小原地区の芸能や交流館講座の発表会。

## STAFF

### 小原白字感

### 編集後記

もともと「商工会青年部」は知っていたが、今回メンバー1人ずつ取材をさせてもらい個々の仕事や地域での活躍、そして考えの深さに驚いた。「青年部」は商工会の未来を担う組織だと思う。これから的小原商工会が楽しみだ!

T.M(今号編集長)

青年部の熱い想いを感じ、私なりに文章を書かせていただきました。今回、青年部特集ということで青年部の皆さんのが想いを聞いて私自身も、もっともっと修行し、精進して小原を活性化していくたいと思いました。

G.K

青年部の皆さんのがパワーを感じながらの取材はとても楽しかった。地域の人々、家族と繋がりながら、小原に住んでいるという誇りを感じた。これからも小原を盛り上げようという力を強めていってくれると期待したい。

M.K

青年部のみんなには普段会っているのに、なかなか深い話をしないので、今回改めて事業のことや小原への想いを聞けて新鮮だった。しかし、その想いを出せる場がない、そんな場ができれば、小原の未来も明るいと思った。

T.S.



ようこそ  
おばら委員会

発行:2018年9月【ようこそおばら委員会事務局 豊田市役所 小原支所】

〒470-0592 愛知県豊田市小原町上平441-1 Tel 0565-65-2001 Fax 0565-65-3695

E-mail:obara-shisho@city.toyota.aichi.jp

今後、本誌の郵便を希望される方はご連絡ください。